

※一般質問の内容は、議員自身が6月定例会議事録に基づき記述しています。



もちづき のりお
望月 則男
(富岳会)

富士宮市の公園の整備、管理について

問 指定管理の方、様々な職員方、与えられたパートを全力で仕事をされていると感じる。ただ、それが優秀なばかりに、自分のところは完璧にしているというプライドが邪魔をし、縦割り行政の弊害ということを感じた。それを解決するには、政治的な発言によって、みんなが調和をしながら前に進めていっていただければと思います、質問をさせていただく。「ふじのみや子育て支援MAP」というホームページ、「富士宮市公園」で検索しても出てこない。追加で花と緑と水の課が管理する公園もあるのではないかと思います調べようとすると都市公園の公園ガイドにも飛ばないが、なぜか。

部長 市民に大変迷惑をかけている状況だと思うので、大至急改善をしていく。

意見 行政は、究極のサービス業であるべき。民間の企業であれば、収益はお客からいただくが、行政は税金であるということ、それを考えると使う側の人のことを一番に考えた制度設計をしていく必要があると感じる。

問 公園を見て、様々な企業の方がSDGsの観点からネーミングライツ的な形で、企業名の看板を設置して、この公園はこの企業の方が草刈りをしてきていますとかを掲示するということが今のままの法律、制度の中で可能か。

部長 ネーミングライツという概念は、企業の名前を施設に掲げて、代わりに収益を得るという行革的なアイデアの一つ。また、ボランティアの方が、公園や公益に関わって、それを知ってもらうと。そしてやりがいを感じてもらうということだと思うので、SDGsパートナー制度を始めたばかりだが前向きに考えてみたいと思う。そういう話を一回してみて、皆さんの反応、前向き感を見て、早速御協力いただけるならば、実証的に早めに始めてみたいと思う。



むらせ ひとし
村瀬 旬
(至誠)

富士宮市歩く博物館を観光資源として旅行社に働きかけ、街・富士宮市への個人及び団体客の誘客につなげることについて

問 歩く博物館は芝川の6コースを含め、市内には24コースが設定されていて、区民歩け歩け運動の推進、また教育現場では積極的に授業に取り入れているとあるが、歩け歩け運動は、全国的に多くの広がりを見せており、旅行社等を通じて総力を挙げて誘客活動を行うべきと思われるが、ご意見を伺う。

市長 この事業は富士宮市内に点在する文化財を歩いて回ること、富士宮市の歴史や文化に触れていただき、市民はもとより、市外県外の方々にも富士宮市の魅力をじかに感じていただける非常に素晴らしい事業であり、歩く博物館には源頼朝が朝霧高原周辺で行ったとされる

「富士の巻き狩り」にゆかりのあるコースや富士山本宮浅間大社や曾我兄弟の隠れ岩、曾我八幡宮など、NHK大河ドラマにまつわるコースも設定されており、現在も市民や観光客が多く訪れる重要な文化歴史資源である。観光業者への働きかけについては、この機を逃さず旅行業者などと連携して積極的なPRを行っていく。

予算編成時における市税収納率と税金滞納に対する徴収、差し押さえについて

問 収納率設定は、過去の実績と景気動向により行われると思うが、滞納が長期にわたった場合の通告等の手順と、過去5年間の件数と収納金の実績をお尋ねする。

部長 給与の差押えは勤務先に連絡し徴収する。過去5年間の実績は、1,622件、約2億7,870万円。保険の解約は、1,464件、約7,850万円。不動産の差押えは、280件、約1億7,480万円である。今後も適正かつ公平な賦課徴収に努めるとともに、予算編成時には歳入予算額と歳入決定額が著しく乖離しないよう努めていく。